

8月6日聞く会

リオ+20 参加報告

JAWW（日本女性監視機構）副代表

北九州サステナビリティ研究所 主席研究員

織田由紀子

1. リオ+20

1992 年ブラジルのリオデジャネイロで開催された、国連環境開発会議（UNCED, 通称 地球サミット）から 20 年後の 2012 年 6 月 20-22 日、リオデジャネイロで開かれた「国連の持続可能な開発会議」および関連の会議やイベント

主要テーマ：

- ① 持続可能な開発及び貧困根絶の文脈におけるグリーン経済
- ② 持続可能な開発のための制度的枠組み

成果文書 『私たちの欲する未来（The Future We Want）』

2. 成果文書「私たちの欲する未来」

テキスト文書 53 頁 283 パラグラフ <別紙成果文書構成参照>

1) ジェンダー平等と女性のエンパワメント

V. 行動およびフォローアップのための枠組み、A. テーマ別分野および分野横断的課題の 26 分野最後に「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」として全 9 パラグラフ。

① 主な内容

para 236	持続可能な開発における女性の役割と参加とリーダーシップの重要性、CEDAW、北京行動綱領、MDG、アジェンダ 21
para 237	女性の決定参加と管理的地位、指導的地位にある女性を増やし gender parity をめざす。目標値を設定する
para 238	女性の潜在能力開花の障害を除去するための差別的法制度の改革、危険な実践をかえるための斬新なアプローチの採用、農村、先住民、少数者のための環境整備
para 239	gender sensitive indicators and sex-disaggregated data の収集、分析、利用
para 240	経済的資源への平等なアクセス、土地の所有権、財産権など
para 241	教育、経済的機会、ヘルスサービスへの平等なアクセス。ヘルスサービスには women's sexual and reproductive health を含み、誰もが安全で効果的で購入可能で受容できる近代的家族計画の方法へのアクセスを含む。ICPD の確認
para 242	持続可能な開発のすべての側面におけるジェンダー平等と女性の参画の重要性
para 243	UN-Women の支持
para 244	国際機関等の自組織および途上国への協力における決定への女性の参画とジェンダー主流化の推進

② 成果文書の他のパラグラフにおける女性・ジェンダーの出現

- (i) 災害リスク軽減における「ジェンダー視点」—日本政府の提案
- (ii) エネルギーにおけるジェンダー平等（パラ 125）
- (iii) 大洋・海洋における女性漁業者への言及（パラ 175）
- (iv) 雇用に関する分野で多く触れられた（11 パラグラフ中 6 パラグラフ）
- (v) women and men と女性を先に書いているものが多い。特に雇用（7 回 vs1 回）
- (vi) gender parity(237), gender sensitive indicators(239)、right to foods など

③ 問題：

- (i) 第 4 章 制度的仕組みでは触れられていない
- (ii) 「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」を除く 25 分野のうち、女性・ジェンダーに触れられていない分野が 13 ある（観光、交通、後発開発途上国、内陸低開発、アフリカ、地獄的努力、気候変動、森林、生物多様性、山岳、化学物質・廃棄物、持続可能な生産と消費、鉱業（採掘業））
- (iii) 再確認 reaffirm が多い
- (iv) particularly、including women のように女性を付加えたものが多い
- (v) mother-to-child transmission of HIV（パラ 140）など要注意の表現がある

2) リプロダクティブ・ヘルス（145, 146 パラグラフ）

V. 行動およびフォローアップのための枠組み、A. テーマ別分野および分野横断的課題の 26 分野の 1 つとして「健康と人口」として全 9 パラグラフ

para 145	北京行動綱領および国際人口・開発会議の行動計画、その後の成果文書（性的およびリプロダクティブ・ヘルスおよびすべての人権の保護と推進を含む）の完全かつ効果的な実施、リプロダクティブ・ヘルスへの普遍的アクセスの必要性（家族計画、性的健康、リプロダクティブ・ヘルスの国家戦略およびプログラムへの統合を含む）
para 146	我われは、ジェンダー平等およびセクシュアリティに関することがら（性的およびリプロダクティブ・ヘルスへのアクセスを含む）を、女性、男性、若者が強制、差別、暴力なしに自由かつ責任を持って決定する権利を保護するために取り組むことを再確認する。安全で効果的で購入可能で受け入れ可能な近代的方法による家族計画への普遍的なアクセスを含むヘルスサービスの提供の確認

- ① IPCD やその後の成果の見直しやその結果に関する表現が入り、後退しなかった。
- ② 課題
 - i) リプロダクティブ・ライツという文言が消えた⇒女性メジャーグループの行動
 - ii) 思春期 adolescent のリプロダクティブ・ヘルスが入らなかった

3) 成果文書に対する女性メジャーグループの意見

- ① ICPD、北京行動綱領および実施検証した文書が再確認されたことは評価する。
- ② SDGs および資金メカニズムに関する政府間交渉プロセスの設置を評価する
⇒地域だけでなくジェンダーバランスを
- ③ 女性の権利がもどされた— reproductive rights が入らず、人権が弱まった

- ④ 健康な環境に向けての権利の否定—原子力、鉱業の健康や環境に及ぼす害が触れられていない
- ⑤ 自然資源へのアクセスと管理に関する女性の権利を保障するための具体的な手段が含まれていない
- ⑥ 法的規制を伴う予防原則に則って実施されない限りグリーン経済は green wash にすぎない
- ⑦ 地域分散型の再生産エネルギーシステムへ転換するための資金源の確保を

4) 今後に向けて—SDGs とポスト MDGs

- ① 「成果文書は完全ではないかもしれないが、権利は守られた。一定の成果がある。これに基づいて築きあげていこう。」
- ② ICPD+20、MDGs+15、SDGs のプロセスおよびポスト 2015 の開発議題の準備
 - (i) Sustainable Development Goals (SDGs)に何をいれるか、誰が決めるか、どのように決めるか→ 作業部会
 - (ii) MDGs との関係を含めてのジェンダー平等・女性のエンパワメントの立場からの提案
 - (iii) 後戻りをしないために—reproductive rights
- ③ 25 の課題分野におけるジェンダー視点の統合
- ④ 前進するために—指導的地位の女性の割合 40%を主張（アイスランド）
- ⑤ 情報を独占できない時代の市民社会の参加—インターネット、ソーシャルメディア

3. サイドイベント報告

1) UNWomen 主催「女性たちが望む未来：リーダーのフォーラム」（6月19日）

プログラム

開会全体会

第 1 分科会 規範的枠組みおよび持続可能な開発の 3 本柱の統合

第 2 分科会 女性の革新的取組み事例

第 3 分科会 持続可能な開発および貧困削減の文脈におけるグリーン経済におけるジェンダー平等と女性のエンパワメントの推進

第 4 分科会 女性が欲する未来：新しい国際開発の枠組みを作る

閉会全体会

開会全体会

UN Women のバチエレ事務局長は女性の平等な決定参加とリーダーシップは、持続可能な開発を進めるにあたって必要である。我われは包括的で、人びとを中心にし、環境を保護し、人権、尊厳、平等に基づく新しい開発のパラダイムを必要としていると述べた。

ブルントラント氏は、MDGs や SDGs の議論において、女性は持続可能な開発の三本柱の要であることに光が当てられるべき。「国連地球の持続可能性に関するハイレベル・パネル」では女性の優先順位をあげるよう努力している。女性の決定への参画、自己決定、雇用は、世

界中に共通の重要な課題である。女性への投資は、権利の問題であるだけでなく、古典的な経済の枠組みでも経済的に意味がある、と述べた。

女性メジャーグループ代表のサッシャ・ガビゾン氏は、世界 200 以上の女性グループやネットワークの提言をバチエ副事務総長に手渡し、女性メジャーグループの優先順位として次の 4 点を紹介した。①完全に平等で意味ある参加、②GDP を超えた新しい経済、③性と生殖に関わる健康と権利を含む健康と権利、④貧困、global protection floor が必要。彼女はまた、リプロダクティブ・ライツが成果文書に入らなかったことに対する失望を示し、同日 2 時から無言デモへの参加を呼び掛けた。これを受けて当日午後 2 時からリオ・セントロで、成果文書にリプロダクティブ・ライツが入らなかったことに抗議する示威行動が行われた。

セッション 1 「規範的枠組みおよび持続可能な開発の 3 本柱の統合」

モデレーター：メアリー・ロビンソン前アイルランド大統領、元国連人権委員会委員長、Mary Robinson Foundation for Climate Justice 財団理事長

課題提示：Ms. Lakshmi Puri, Assistant Secretary-General and Deputy Executive Director, UN Women

Ms. Connie Hedegaard, EU 気候変動委員長（デンマーク、コペンハーゲンの気候変動会議の議長）

Ms. Vanda Pignato, エルサルバドル大統領夫人、社会包摂大統領補佐官

Ms. Anita Nayar, Development Alternatives with Women for a New Era (DAWN) 理事

Ms. Heidi Hautala, フィンランド国際開発省大臣

会場からの発言者が多く非常に活発だった。ツイッターで等中継されており、ツイートしている人は 140 万人に上ることが紹介された。

セッション 2 「女性の革新的取組み事例」

UNWomen の持続可能な開発女性起業賞受賞者の紹介と女性による革新的な持続可能な開発と女性のエンパワメントを進める起業事例が報告された。全体として途上国の若い女性がスピーカーとして多く登壇していた。

2) 女性のリオ+20 好事例賞授与式（6 月 21 日午後）

Good Practice Award は UNEP の女性環境大臣年次会合で決まったもの。ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)、ドイツ 国際協力公社(GIZ)、国際 NGO WECF が支援。食料、気候変動、雇用、水と衛生、持続可能なエネルギーの 5 分野で良い活動をしている途上国の女性 150 のノミネートの中から選び表彰し、賞金 1000 ドルを授与したもの。メキシコ、南アフリカ、ブラジル、ナイジェリア、デンマーク、アイスランド、スイスの女性環境大臣や副大臣がプレゼンターとなって賞の授与が行われた。